

私立高校の入試がひと段落 ～令和3年がスタート～

1月8日(金)に、中学校生活の最後の学期となる、43日間の第3学期が始まりました。そして今週は、3連休明けから私立高校の福島成蹊・桜の聖母・聖光学院・福島東稜の4校の一般入試が行われました(松韻福島高校の一般入試は、冬休み中に行われました)。

始業式では、校長先生から式辞の中で、次のようなお話がありました。

(前略)

先生方も含めたこのメンバーで、伊達中学校で、学校生活を送ることができるのも、この3学期だけになりました。

特に、3年生は、小学校とあわせて9年間の義務教育をこの3学期で終えることとなります。この義務教育を終えるということは、「社会において自立した人間になる・国家及び社会の形成者になる」ということです。端的に言うと、「一人前の社会人になる」ということです。

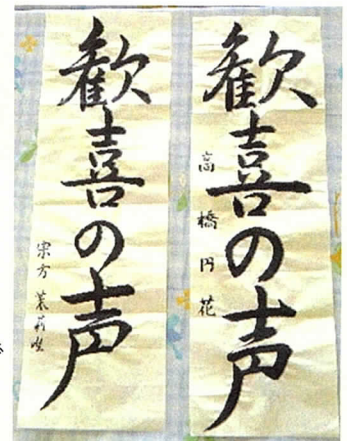
現実的には高等学校に進学し、義務教育よりさらに高等な教育を受ける人がほとんどで、社会人になるのはまだ先になりますが、中学校卒業までに身に付けておかなければならないことをしっかり身に付けてほしいと思います。

具体的には、1・2年生も含めてですが、「当たり前のことが当たり前でできる」ようになってほしいということです。当たり前のこととは、例えば、「あいさつをきちんとする」「時間を守る」「自分の気持ちをことばできちんと伝える」「自分がされて嫌なことは他人にもしない」など、学校生活の中だけでなく、学校行事を含めたたくさんの経験を通して学んできたことです。これらは自然と身に付くものではなく、自ら進んで努力しなければ身に付きません。今の自分をしっかり見つめ、欠けていることを克服し、さらに成長することを期待します。

(後略)

このお話の中にもありますが、義務教育最後の学期となる3学期で、自分の希望する進路に向けて学習に力を入れることはもちろんですが、将来にわたってより良い人間関係を築くために大切なことを、残り僅かな学校の集団生活の中で、しっかり身に付けて欲しいと思います。

<始業式(放送による)の様子>



新年を迎えて ～生徒の書きぞめ作品～

忙しい中、2人の生徒が冬休み中に書きぞめの作品を提出しました。

今年の課題は「歓喜の声」でしたが、2人とも力強い筆遣いで、立派に書いています。

この書きぞめに書いてある「歓喜の声」を、志望校合格の際に聴くことができるように、また、4月にそれぞれの道に進んだときに聴くことができるように、残り少ない中学校生活を、悔いのないよう頑張りたいと思います。

<第3学期 第3週の予定>

月日	朝	1	2	3	4	5	6	行事等
1/18(月)	予想問題	月1	月2	月3	月4	月5	月6	5カット 仙台高専願書記入(5) 成蹊一般入試合格発表
1/19(火)	予想問題	火1	火2	火3	火4	火5	火6	
1/20(水)	予想問題	水1	水2	水3	水4	水5	水6	短縮、清掃・部活なし 専門委員会⑨ 県立前期選抜願書記入(6) 東稜手続締切日
1/21(木)	予想問題	木1	木2	木3	木4	木5	木6	学年末テスト前職員室入室禁止 成蹊・聖母・聖光手続締切日
1/22(金)	予想問題	金1	金2	金3	金4	金5	金6	学年末テスト前職員室入室禁止

私立高校の合格者は、手続として期限までに入学金を納めること(銀行振込やコンビニエンスストアでの振込)となります。これを行わないと、合格が取り消されてしまいますので、期限を守ってお手続きください。振込後は、学校で手続き完了を確認するため、振込の控えのコピーをご提出ください。

1月25日(月)、26日(火)は、中学校最後の定期テストになる学年末試験があります。また、29日(金)は第6回の実力テストとなっています。私立高校の入試に引き続き、校内でのテストも連続しますので、週末などの不要不急の外出を避け、ご家庭でお子様をしっかり学習に取り組まさせていただきようよろしくお願いいたします。また、引き続き新型コロナウイルス感染症の予防もお願いします。